

分布上顕著な新津の植物(4)

石 沢 進

*新津丘陵における新潟県絶滅危惧種の分布

新津市内には、平野部にはりだした丘陵があり、自然に恵まれた地域である。古来から人々が利用してきた里山であり、多くの植物が分布し、貴重な地域として位置づけられる。その里山に生育する植物の中に、新潟県で絶滅の傾向にある植物があり、その種と生育状況を記録する。

「レッドデータブックにいがた—新潟県の保護上重要な野生生物」(2001)に掲載している種の内、新津丘陵に分布している維管束植物は次のようである。

絶滅危惧I類 (EN)		01	02	03	04
オミナエシ:	新潟県 RD: EN				
キキョウ:	新潟県 RD: EN; 環境庁: VU				
トケンラン:	新潟県 RD: EN; 環境庁: EN				
クマガイソウ:	新潟県 RD: EN; 環境庁: VU				
絶滅危惧II類 (VU)					
サネカズラ:	新潟県 RD: VU				
ハンゲショウ:	新潟県 RD: VU		◎	◎	
ヒゴスミレ:	新潟県 RD: VU				
カラタチバナ:	新潟県 RD: VU			○	
ハイハマボス:	新潟県 RD: VU; 環境庁: VU	○	○	○	○
ヤナギスブタ:	新潟県 RD: VU; 環境庁: VU				
ヤマトミクリ:	新潟県 RD: VU; 環境庁: VU	○	○	○	○
エビネ:	新潟県 RD: VU; 環境庁: VU				
キンラン:	新潟県 RD: VU; 環境庁: VU				○
ホクリクムヨウラン:	新潟県 RD: VU	○	○		
ヒトツボクロ:	新潟県 RD: VU		○	○	
準絶滅危惧 (NT)					
ウラジロ:	新潟県 RD: NT	○			◎
ミズワラビ:	新潟県 RD: NT			○	○
オオバノハチジョウシダ:	新潟県 RD: NT	○		○	○
ツルデンダ:	新潟県 RD: NT	○		○	○
コシノカンアオイ:	新潟県 RD: NT	○	○	○	○
ヤガミスゲ:	新潟県 RD: NT			○	○
地域個体群 (LP)					
アカガシ:	新潟県 RD: LP	○	○	○	○
ウラジログシ:	新潟県 RD: LP	○	○	○	○
フユイチゴ:	新潟県 RD: LP		○	○	○
ミヤマフユイチゴ:	新潟県 RD: LP			○	○
ソヨゴ:	新潟県 RD: LP	○	○	○	○
ヒメヨツバムグラ:	新潟県 RD: LP	○	○	○	○

◎ 確認情報による

*新津丘陵の新産植物

2004年の調査で新津丘陵における新たな産地の追加を以下に掲載する（参考のため、他地域で新たに分布が確認できた箇所も追加する）。

[略号] IS:石沢の標本、IS-後の数字は標本番号で新津植物資料室に保管;Photo:写真ネガ番号;('04):2004年の標本採集年あるいは写真撮影年、Photo:写真資料、[]の数字:地形図座標

ヒメコウガイゼキショウ *Juncus bufonius* L. (写真 1~4) [いぐさ科]
 新津市蒲ヶ沢 埋蔵文化財センター 10m: IS-39489('04 Photo 3189-5~13・3190-21~24) [新津 5639-50-19]
 西蒲原部分水町渡部渡部橋 5m: IS-394647・394649・394653('04 Photo 3188-4~6・3189-20~E・3190-13~20) [三条 5638-36-74]
 五泉市赤梅 五泉東小学校校庭 6m: 坪谷富男('03 IS-402775)

[帰化種]

イヌコハコベ *Stellaria pallida* (Dumort.) Piré [なでしこ科]
 新津市金津 新潟県立植物園構内 7m('04 木村 彰) [新津 391375-23, 5639-50-09] [詳細は木村 (16頁参照)]

[新津丘陵の絶滅危惧種の分布確認]

キンラン *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume (写真 5) [らん科]
 新津市金津 : Photo 3137-3('04) [May 11, 2004]
 新津市に分布するが、その生育を新たに確認した。本種は、野生の株を採取して育てても長年にわたる栽培は難しいので、見つけてもその生育地に温存させておくように配慮が必要である。

*新津丘陵におけるブナの分布

新津市金津お茶山には、ブナが分布することがすでに記録されているが、行政上から小須戸町に主に分布している。新津市側の分布について正確に調査していなかったため、その生育の調査（2004年 11月 2日）を行い、新津市地内に2本の生育を確認したので、その状況を記録する。ブナの大きさは胸高直径20cmほどであり、樹高も15m以上である（写真 6・7）。下層にはツバキが生育しているが、お茶山のツバキは、ユキツバキに近い個体であり、ユキバタツバキに相当するとみられる。県内でもブナとユキバタツバキが共存するところは稀であり、このような組み合わせの群落は貴重である。これまで、西蒲原部分水町国上山にそのような群落が分布し、県の天然記念物に指定されている。従ってお茶山の群落は第二の生育地であり、大切に保存する意義は大きい。

*丘陵以外の新津地域で新たな種の分布確認

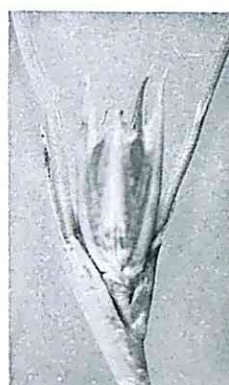
2004年には、新津市六郷の阿賀野川流域（堤防外）における植物を調査し、その結果からこの地域における絶滅危惧の植物、新産地の植物などをまとめると次のようである。

1) 絶滅危惧の植物

この地域に生育する絶滅危惧種は次表のようである。バイカモは上流から漂着したものとみられる。タコノアシの個体数は春から夏にかけてよく見られたが、夏の洪水で秋には個体数が少なく、特に果実を着けている個体数がわずかである。

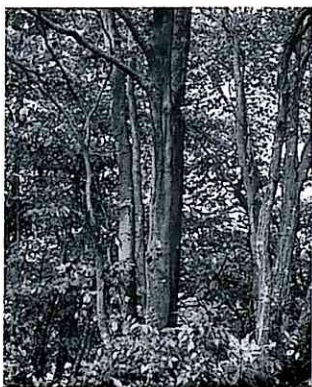
表と写真

絶滅危惧種	新潟県	環境庁	備 考	写 真
ノダイオウ	VU	VU	本流沿いの草原に生育	8
バイカモ	VU		漂着	
タコノアシ	VU	VU	本流沿いに生育	9・10
カワジシャ	NT	NT	本流沿いに生育	11・12
タカアザミ	NT		本流沿いの草原に生育	13・14
ミクリ	NT	NT	堤防外の水路や止水池に生育	15・16
ヤガミスゲ	NT		本流沿いの草原に生育	17



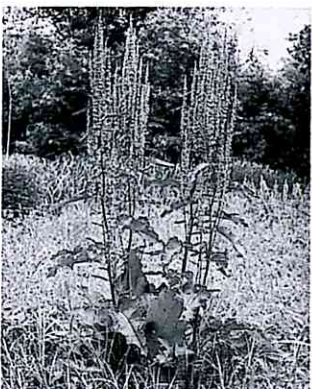
[写真 1・2・3・4] ヒメコウガイゼキショウ 新津市蒲ガ沢 埋蔵文化財センター 10m
[June 29, 2004:IS]

[写真 5] キンラン
新津市金津
[May 11, 2004:IS]



[写真 6] ブナ (株元・樹幹) 新津市金津お茶山 80m
[Nov. 2, 2004:IS]

[写真 7] ブナ (株元・樹幹) 新津市金津お茶山 80m
[Nov. 2, 2004:IS]



[写真 8] ノダイオウ 新津市六郷阿賀野川沿い 3m
[June 9, 2004]
(以下写真 9~26はノダイオウと同一産地であり、地名略)

[写真 9] タコノアシ
[Sept. 9, 2004]

[写真 10] タコノアシ
[Oct. 19, 2004]



[写真 11] カワジシャ
[June 9, 2004]

[写真 12] カワジシャ
[June 9, 2004]

[写真 13] タカアザミ
[June 9, 2004]

[写真 14] タカアザミ
[Nov. 9, 2004]



[写真 15] ミクリ
[July 8, 2004]



[写真 16] ミクリ
[July 8, 2004]



[写真 17] ヤガミスゲ
[May 25, 2004]



[写真 18] タチタネツケバナ
[April 30, 2004]



[写真 19] マルバヤハズソウ
[Sept. 9, 2004]



[写真 20] マルバヤハズソウ
[Oct. 19, 2004]



[写真 21] ムシクサ
[June 9, 2004]



[写真 22] チョウセンガリヤス
[Sept. 9, 2004]



[写真 23] サドスゲ
[April 30, 2004]



[写真 24] ウスベニツメクサ [June 9, 2004]



[写真 25] シロイヌナズナ
[April 13, 2004]



[写真 26] ミチタネツケバナ (左) と
タネツケバナ (右) [April 13, 2004]



[写真 27] ヌカススキ
[June 9, 2004]



[写真 27] ウマノチャヒキ
新津市新津駅構内 4m [June 18, 2004]

2) 新津地域に追加する植物 (在来種と帰化種に区分して示すと次のようである)

[在来種の追加]

- タチタネツケバナ *Cardamine fallax* (O. E. Schulz) Nakai (写真 18) [あぶらな科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-392354('04, Photo 3119-20) [新津 5639-51-63]
- マルバヤハズソウ *Kummerowia stipulacea* (Maxim.) Makino (写真 19・20) [まめ科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-399935・401671('04, Photo 3216-12・3230-25) [新津 5639-51-63]
- ムシクサ *Veronica peregrina* L. (写真 21) [ごまのはぐさ科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-393528('04, Photo 3175-14~15) [新津 5639-51-63]
- カワジシャ *Veronica undulata* Wallich (写真 22) [ごまのはぐさ科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-393525('04, Photo 3175-13・23) [新津 5639-51-63]
- チョウセンガリヤス *Cleistogenes hackelii* (Honda) Honda (写真 22) [いね科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-398940('04, Photo 3120-18) [新津 5639-51-63]
- サドスゲ *Carex sadoensis* Franch. (写真 23) [かやつりぐさ科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-392366('04, Photo 3120-18) [新津 5639-51-63]

[帰化種の追加]

- ウスベニツメクサ *Spergularia rubra* (L.) J. Presl et C. Presl (写真 24) [なでしこ科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-393512・402506・402511('04, Photo 3174-34~E・3175-1~2) [新津 5639-51-63]
- シロイヌナズナ *Arabidopsis thaliana* (L.) Heynh. (写真 25) [あぶらな科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-392069('04, Photo 3099-16) [新津 5639-51-63]
- ミチタネツケバナ *Cardamine hirsuta* L. (写真 26) [あぶらな科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-392062('04, Photo 3099-18) [新津 5639-51-63]
- ヌカススキ *Aira caryophylla* L. (写真 27) [いね科]
 新津市六郷阿賀野川沿い 3m: IS-399549('04, Photo 3175-30) [新津 5639-51-63]

阿賀野川沿い以外での追加種

- ウマノチャヒキ *Bromus tectorum* L. (写真 28) [いね科]
 新津市 JA 新津駅構内 4m: IS-394126('04, June 18) [新津 5639-50-59]

新潟県植物分布資料(4)

石 沢 進・朱 雁

新潟県で新たに確認した種、主に分布を欠いている地域での分布が確認できた種について記録する。

[略号] IS: 石沢の標本、IS-後の数字は標本番号で新潟植物資料室に保管; Photo: 写真ネガ番号; TY: 登坂裕一の標本、数字は標本番号で同氏保管、('04): 2004年の標本採集年あるいは写真撮影年、Photo: 写真資料、[] の数字: 地形図座標

*新潟県新記録

- ミヤコイヌワラビ *Athyrium frangulum* Tagawa (写真 1・2) オシダ科
 柏崎市米山町旗持山 75m: TY-27466・27655(2001)・29032(2003)・29467・26468(2004) [柿崎 382372-44、環境庁3次メッシュ 5538-73-75] 生育地の詳細は23頁参照
- オオクボシダ *Xiphopteris okuboi* (Yatabe) Copel. (写真 3~6) ヒメウラボシ科
 南魚沼郡六日町下津川 520m: 笹川通博 ('04 IS-Photo 3211-5~26) [八海山 5539-40-42]
- ヒメコウガイゼキショウ
 前項の新津丘陵の植物に掲載(2頁)。[13頁の写真1~4参照]